

中学校・高等学校 教育実習入門



第11－12講
附属校で学んだことはなにか

【本日の学習課題】

あなたは、附属の授業観察で何を学びましたか？

TAの皆さん

- (1) 学生のコメントで印象的だったものはなんですか。
- (2) 学生のコメントで残念だったこと・気になったことはなんですか？ 指摘してください。



1年生とは、観察・分析・批評の視点がどう違うだろうか
皆さんは、事前指導の結果を活かした
コメントができていただろうか・・・

授業の目標...なんのため？なぜ？
教科論, 目標論

授業の内容...なにをこそ, どんな順序で？
単元の構成, 本時の展開, 学習課題と教材解釈

授業の方法...どのように教える？学ばせる？
教授論(教師の指示・発問, 資料), 学習論(子どもの認知・活動)

授業の評価...なにが分かったか？できたか？
観察法, テスト法, ポートフォリオ法

授業の成立条件

- 指導技術
- 学習規律
- 環境・文化

そもそも、あなたは、どんな記録を採りましたか？



1年生の記録とTAの記録を比べてみましょう。

- 見る**視点**，書く**内容・方法**に，どんな違いがあるか？
- 授業後に**有意義な質疑を行う**ための記録の採り方とは？

社会科学習指導案

指導者 伊達 正貴

日時 平成29年7月12日(水) 第1校時(8:45~9:35)

年組 中学校第2学年1組 計40名(男子19名,女子21名)

場所 中学校2年1組教室

単元 交通路の整備と都市の繁栄

本時の目標

資料から都市の役割を読み取り、交通路の整理と関連づけて説明する。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (◆評価)
1. 導入 □三都について理解する。	○三都の呼称から、それぞれの都市へのイメージを持たせる。
2. 展開 『摂津名所図会』から読み取れることをまとめよう □摂津名所図会を見て、大阪に全国からの年貢米が集められたことを読み取る。 ・俵が積んであるから、米に関係がある ・人の向きを見ると、米は川(海)から陸に運ばれていることがわかる ・建物が蔵のように見える ・米が集まるから「天下の台所」の大阪だろう	○質問を段階によって積み重ね、読み取るポイントを絞らせる。 ○資料に見られる場面をていねいに読み取らせる。
なぜ大阪に全国からの米が集められたのだろうか	
□資料をもとに、なぜ大阪に各地からの年貢米が集められていたのかを考え、説明する。 ・瀬戸内海に面しているから、船で全国から米を運ぶのに都合がよい ・プリントの「堂島米市」の資料で、何か取引をしているような商人が見える ・教科書に「蔵屋敷を置いて、年貢米や特産物を販売した」と書いてある ・米の売り買いが大阪で行われていた ・資料集には、藩が大阪の蔵屋敷に米を送ってお金を得ている図がある ・大阪は年貢米を現金に換える場だった	○蔵屋敷に関わるさまざまな立場の人の目的を、多面的に考えさせる。 ○大阪と全国のつながりと、それを支える貨幣経済の発展に気付かせる。 ◆大阪と全国のつながりに注目して、米と金の動きを説明している。(ワークシート)【思考・判断・表現】
□全国から米や特産物を運ぶためには、どのような施設や仕事関わっていたかを調べる。 ・庶民が宿泊する施設「旅籠」 ・手紙や荷物を運ぶ仕事「飛脚」 ・船や船乗り	○三都および全国各地を結ぶ交通網に注目させる。 ○三都にかかわる商品と、農村、人々の生活のつながりも考えさせる。

前時までに
江戸と産業

都市の繁栄(つながり)の一部を
理解させ終了

3. まとめ
□三都の役割とそれぞれのつながりを、図の中に短い文章でまとめる。 □前時までの学習とのつながりを意識させる。

夜通	問、意見	Evidence
導入	<ul style="list-style-type: none"> なぜ大阪に注目する必要があるのか?? 疑問との接合、前時との接合日どう意識したのか?? 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が三都のろう 大阪に注目すると指示
展開	<ul style="list-style-type: none"> 江戸活動の意図とは何か?? 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合っではなく個人作業 → 教師が強く、個人で (測る活動が主となっているため) 表紙の精選、1つの資料を(1つ)
全体	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちから「なぜ?」「どうして?」「どう問」が出たから 採集構成について「なぜ大阪に...」という学習の流、交通路の整備の位置づけ 子どもたちは最終的に何かで終わらせたのか?? 	

児玉

(活字)

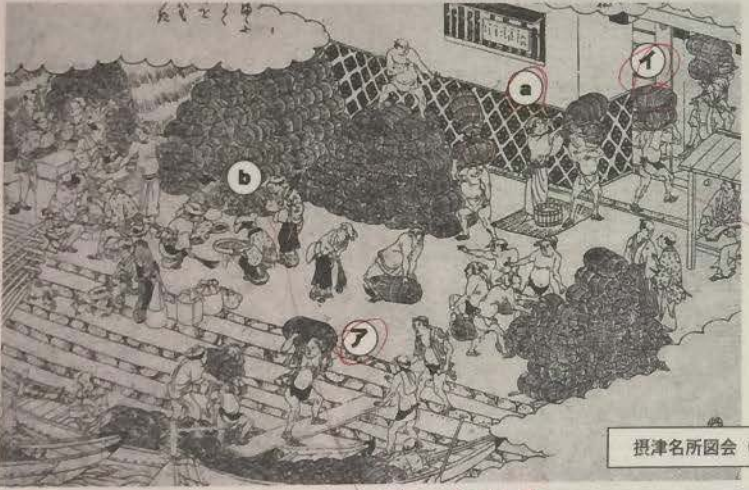
ねらい：都市の繁栄とそれらのつながりが、江戸時代の社会に与えた影響を説明する。

江戸時代の三都といふば
 「將軍のおひざもと」といわれた(① 江戸)
 「天下の台所」と呼ばれた(② 大阪)
 朝廷や大きな寺社がある古くからの都の(③ 京都)

都市名(調査年)	人口(人)
江戸(1721)	50万1000
大阪(1721)	38万3000
京都(1719)	34万2000
金沢(1697)	6万9000

多動交代で滞在する武士を除く
 これを加えると江戸の人口は約100万
 江戸時代の人口は約100万

資料から、都市の役割を読み取ろう。



摂津名所図会(堂島)

- A 何をしている場面だろうか。
- B 米俵の動きは(ア)→(イ) 金買
- C この米は、どこから来たのだろうか?
- P 全国
- D 絵の背景にあるような建物が、諸藩の()

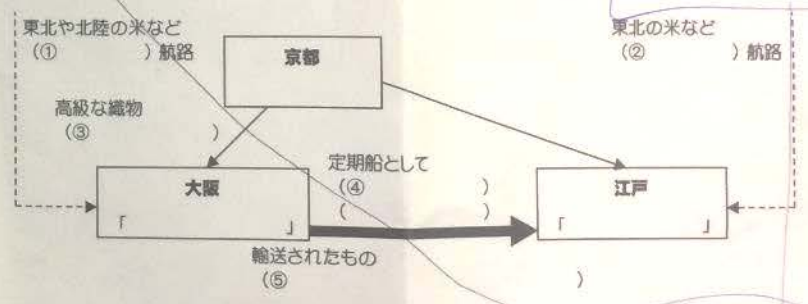
用いられる建物は何か? 蔵屋敷
 大阪は蔵屋敷の多い全国紅毛集積地...
 江戸時代の人口は約100万

大阪と全国各地のつながりを考えよう。 2年 組 番号



Point-大阪と東の関係は...
 江戸時代の人口は約100万
 大阪と東の間に...
 大阪で東へ金に...
 大阪と東の間に...
 大阪と東の間に...
 大阪と東の間に...

都市と全国各地のつながりをまとめよう。



陸上の交通路では
 東海道や中山道などの主要な道路が(⑥)
 五街道以外の主要な道路が(⑦)
 箱根などに設けられ、人々の通行や荷物の運送
 本陣や旅籠があり、運送用の人や馬が用意され
 手紙や荷物を運んだ(⑧)

交通の発達には、都市の人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。



資料を付す

追加資料
追加資料

社会科学習指導案

副都庁の発展と日本のつながり
江戸時代の発展と社会科の発展を説明する。

学習課題

指導者 伊藤 正典

内容
生徒の発言
意図

日時 平成29年7月12日(水) 第1校時(8:45~9:35)

年組 中学校第2学年1組 計40名(男子19名、女子21名)

場所 中学校2年1組教室

単元 交通網の発達と都市の発展

本時の目標

資料から都市の役割を読み取り、交通網の整理と関連づけで説明する。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (◆評価)
1. 導入 「三者について理解する。」	○二部の時差から、それぞれの都市へのメッセージを持たせる。
2. 展開 「『東洋名産図会』から読み取れることをまとめよう」 「東洋名産図会を見て、大阪に全国からの年貢米が集められたことを読み取る。」 ・袋が積んであるから、米に関係がある ・人の向きを見ると、大井川(海)から陸に運ばれていることがわかる ・津輪が橋のように見える ・米が袋よるから「天下の倉庫」の大阪だろ	○置倉を階階によって積み重ね、強み取るポイントを絞らせる。 ○資料に見られる場面をいかに読み取らせる。 ○大阪「天下の倉庫」
なぜ大阪に全国からの米が集められたのだろうか	○倉屋敷に関わるさまざまな層の人の目線を、多面的に読みとる ○大阪と全国のつながりと、それを支える経済的背景に気付かせる。
「資料をもとに、なぜ大阪に各町からの年貢米が集められていたのかを考え、説明する。」 ・神戸内海に面しているから、船で全国から米を運ぶのに都合がいい ・ブリットの「釜倉米町」の資料で、何かに引きをしているような商人が見える ・教科書に「蔵屋敷を囲って、年貢米や特産物を販売した」と書いてある ・米の売り買いが大阪で行われていた ・資料集には、藩が大阪の蔵屋敷に米を運んでお金を得ている図がある ・大阪は年貢米を現金に換える場だった	◆大阪と全国のつながりに注目して、米への動きを説明している。(ワークシート)【思考・判断・表現】
「全国から米や特産物を運ぶためには、どのような施設や仕事に関わっていたかを調べよう。」 ・庶民が宿泊する施設「旅籠」 ・手紙や荷物を運ぶ仕事「飛脚」 ・船や陸路	○三部および全国各地を結ぶ交通網に注目させる。 ○三者にかかわる面など、農村、人々の生活のつながりも考えさせる。

江戸大阪京都

全国大阪の港(日記)

思考・判断・表現

船
津輪
飛脚
旅籠

飛脚
旅籠
船

陸路は江戸運子元(飛脚?)

3. まとめ
○三部の役割とそれぞれのつながりを、区の中に短い文章でまとめる。

○大井川内川(大井川)あり。なに? (学習課題、大井川内川 指導資料)

○教科書とこの内容を2つに区別してやる

○教科書記述は資料か? (資料集のどこに書いてあるか?)



○「協働学習(グループ)」は何のつながりがあるか? 何のつながりがあるか?

○大阪入内川(大井川) 環境が良くない

学生の内情と優先行動? 陸路は江戸運子元



【本日の学習課題】

あなたは、附属の授業観察で何を学びましたか？

東雲中学校の授業記録を振り返りなさい。
もし高校の後輩に、本授業の魅力を5分で伝えるとしたら...

- (1) その授業の「見どころ」はどこですか？**
- (2) なぜそこは「見どころ」といえるのですか？**



TAの方の力を借りて、
授業の見どころ＝ヤマ場を再度視聴し、
その場面の意味や意義を確かめよう(ビデオ再生)



第13講は，第14講での発表に向けて，

(1) 社会科の代表者＝発表者を決める。

→**学生相互で調整してください**

(2) 代表者に(私たちを代表して)発表してもらうために，皆で「**実習入門で学んだこと**」の要旨をまとめていきます。

授業の目標...なんのため？なぜ？
教科論, 目標論

授業の内容...なにをこそ, どんな順序で？
単元の構成, 本時の展開, 学習課題と教材解釈

授業の方法...どのように教える？学ばせる？
教授論(教師の指示・発問・資料), 学習論(子どもの認知・活動)

授業の成立条件
- 指導技術
- 学習規律
- 環境・文化

授業の評価...なにが分かったか？できたか？
観察法, テスト法, ポートフォリオ法

授業理論

授業仮説

授業計画

修正
→改善

授業研究会

実験
→検証

授業実践

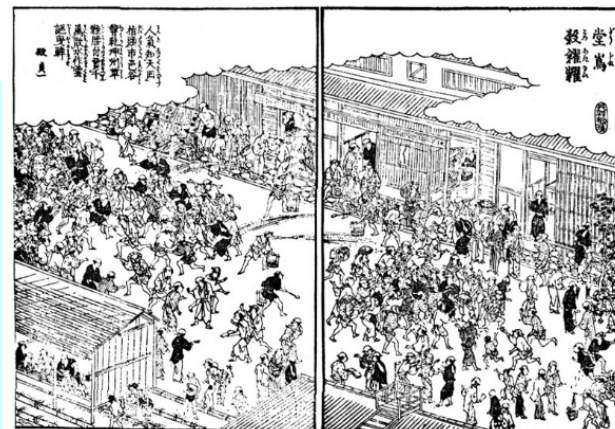
授業実践

発問	教授・学習活動	資料	生徒から引き出したい知識
入 ・オーストラリアはどのよう になっていましたか？ (前時の復習)	T: 発問する。 P: 答える。		・一方では、アジアから移住してく る人々やアボリジニーなど少数は (マイノリティ) となる人々の文 化を尊重し、理解につとめている。 しかし、一方では、アジア系の人 々やアボリジニーが「いじめ」ら れたりしている。
○なぜ、オーストラリアは、 少数派であるアジア系やア ボリジニーの人々の文化を 尊重しようとするのでしょ う？ ○なぜ、アジアの人々は、オ	T: 発問する。 P: 答える。	日本を 100 と	・いろいろな民族がオーストラリアに 移住してきたから。 ・わからない。



あなたは、附属の授業観察で何を学びましたか？

附属の先生が、自身の授業を通じて広大の1年生に伝えたかったことを予想しよう。



自分が中高で受けた社会科授業と比べてみましょう。

- 子どもに「なぜ社会科を勉強するの」と尋ねられたら、正々堂々と回答できるだけの説明と授業ができますか？
- 受験という目的が外れたとき、教師は何を拠り所に社会科を教えたらいいのだろう？（あなたが母校の進学校で教える確率は...）